

今月号では、鉄道総研が基本計画RESEARCH2010に基づき、2010年から5年間に亘って取り組んできた「鉄道の将来に向けた研究開発」について紹介しました。現在、鉄道は、大規模地震対策や年々激化する気象現象への対応、少子高齢化対策など様々な課題に直面しています。今回ご紹介した記事は、これらの課題に鉄道総研が総力を挙げて取り組んだ研究開発の成果です。

RESEARCH2010の推進中、2011年3月には東日本大震災が発生し、社会インフラとしての鉄道の重要性が再認識されました。震災により被害を受けた鉄道が復旧した際、利用者の皆様

が浮かべていた安堵^との表情は、鉄道に携わる者として何よりの励みとなりました。

環境性に優れた鉄道は安全性に対する信頼もあり、社会における期待が益々高まっています。鉄道総研は、今年度から新たな基本計画RESEARCH2020をスタートさせました。様々な技術革新により、鉄道がますます発展し、社会に貢献できるよう研究に取り組む所存です。

来月号の特集は「鉄道の省エネルギー」です。効率的なエネルギー利用について鉄道総研が取り組んでいる研究の一端をご紹介します。どうぞご期待ください。(S.H)